

心に残る文化財子ども塾 出雲市立灘分小学校

1. 活動の概要

令和3年10月29日（金）、出雲市立灘分小学校6年生24人を対象に「心に残る文化財子ども塾」を開催し、「大仏パネル」の体験を行いました。

はじめに大仏が作られた時代や背景などについて職員が説明し、その後実際にパネルを組み立ててもらいました。

少し時間がかかってしまいましたが無事完成し、体育館の2階から大仏の大きさを確認してもらいました。その際に大仏の特徴について職員が解説しました。

最後に協力して片付けを行い、消毒も含めて順序良く作業し時間内に終わることができました。

2. 活動の様子



3. 活動を終えて

①児童のみなさんから

- ・みんなと協力して完成させることができてよかった。
- ・大仏の手や耳が思った以上に大きかった。
- ・いつか本物の大仏を見てみたいと思った。
- ・大仏やその周りの建物がどのように作られたのか調べてみたい。
- ・大仏作りに10年もかかったと聞いて驚いた。
- ・出雲大社がいつ、どのようにつくられたのかも知りたい。

②先生から

- ・本来は1学期の予定だったが豪雨で中止になりあきらめていたが、2学期に実施できてよかった。
- ・児童が興味をもってパネルに取り組む姿がみられた。
- ・完成後に大きさや作り方の説明があればよかった。

③古代出雲歴史博物館から

- ・全員が興味を持って積極的に取り組んでいた。
- ・体育館2階への上り下りに時間がかかり、大仏や灘分小周辺の歴史について説明をする時間が十分にとれなかった。事前の打ち合わせをもうすこし細かくやっておく必要があった。